

# 市報 とおがまち

編集発行 / 十日町市役所(電話代7-3111)毎月10日 / 昭和32年6月5日第3種郵便物認可(1部6円)



とらふんてんてんてん

## 生地染めにかける

ふるさとに生きる

年間600億円に近い生産をあげている十日町織物は、市を代表する産業であると同時に、全国有数の高級絹織物として、その名をはせている。

ここ十日町織物工業協同組合加工部の染色工場では、30度ちかい暑さのなか、高野幹夫さん(市内土市第二)は、生地染めと取り組み、熱湯相手に色出しに懸命——。

9/10  
September

□227号□





# 後に生きがいを

9月15日は敬老の日です。長い間、社会に貢献された老人の健康と福祉を高め、老人に対しいたわりと感謝をあらわすと共に、老人自らがその生活の向上に努めるために設けられたものです——。

## おとしよりの幸せを願って

六十歳以上の方々が現在市内に何人おられるかご存知ですか。全部で七千七十五人、全人口の約十四パーセントです。しかも、その率は年々増大してまいります。

九月十五日は敬老の日、さて今回はおとしよりの対策の一部をご紹介します。いま市がおとしより対策として、取り組んでいるのは、題して「生きがい対策」。

愛の手をさしのべるだけでなく、おとしよりの生きがいづくりも大切なことだと考えます。

### 生きがい対策

長寿大学……とちらかという孤独化、閉鎖化、無力化になりがちなのがおとしよりの生活。

そこで、まず集団学習の場をつくって、そこから生き生きとした生活をつくりあげようと計画されたものです。

老人スポーツ大会……おとしよりのからだづくりをより積極的にすすめるよう計画。もちろんおとしよりのからだや心にあつたスポーツを選んで行なっています。

老人クラブの育成補助……市内には、六十歳以上のおとしよりの仲間づくりと親睦を目的として、七十三の老人クラブがつけられています。市では、この自主的な集まりである老人クラブに活動費の補助を行なっています。おとしよりの方で、趣味

の仲間づくりや話し相手を欲しい方は、お近くの老人クラブにご加入ください。

### 市の老人対策

老人福祉のため、やらなければならぬことは、たくさんあります。限られた財源のなか、現在、市が行なっている老人対策は……

六十五歳になると――

■扶養者となり、市民税も免除されます。ただし、一定額以上の所得がある場合、免除されません。

■老人健康診査の対象となります。

■六十五歳以上のひとりぐらし老人及び寝たきり老人に医療費助成及び兄弟無金支給。

■特殊寝台の貸与。

■老人性白内障の手術費助成

■障害者に対し、老人家庭奉仕員二名が、一週間に二〜三回身のまわりの世話をします。

七十歳になると――

■敬老の日までに、市内に六カ月上任中である七十歳以上の方に敬老祝金をさしあげます。

■七十歳以上の老人に医療費助成。

■年額九万円(十月から十四万四千円)の老齢福祉年金が支給されます。

その他――

老人のための施設の建設を促進します。六十歳以上の一人ぐらし老人で、自力で除雪不可能の場合、除雪費を援助。また老人ホーム等に補助しています。

### 生きるとは何か!

――市民大学講座を開設

九月は、市民大学講座「生きるとは何か」をテーマに行ないます。この講座は、だいたい三十代から五十代の成人男女を対象に考えていますが、関心のある方はどなたでも結構です。

とき 九月十七日、「物質文明への挑戦」講師 島田一男氏

九月二十三日「生きるとは何か」シンポジウム。講師 水沢謙一氏・馬場金太郎氏・岸井勇雄氏・小林由弘氏(司会)

いずれも、夜七時〜八時五十分。

ところ 市民館(学校町)

### 声の市政だよりを製作

市社会福祉協議会

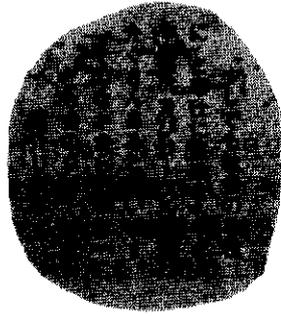
市社会福祉協議会(会長春日市長)は、このほど、身障連盲人部会(会員約三十五人)から要望されていたカセットテープによる声の市政だよりを製作しました。第一回は、市農協の協力を得て、広報課のアナウンサーが市報八月号の記事をテープに吹き込み、去る八月二十九日、盲人部会長の小池さんに手渡しました。

カセットテープは、所要時間一時間二十分とびつり。この身近な情報は、会員間に順次回覧される予定です。会員達は、身近な市のごことを直接耳にすることができるとみな大喜び。市報九月号のテープを今から楽しみにしています。



テープを聞く小池琴二さん(宮下東)

# 人に役立つ ことを実行 昭和町一こども会



夏休み期間中、千歳公園の草取り作業に汗を流していました。この奉仕活動は、毎年行なわれていますが、ことしも、補導員の佐藤、大島、石田、山田、田村さんの指導で、「少しでも人に役立つことを実行したい」とこどもたちは、作業に精出していました。なお、昭和町一丁目の中学生たちは、昭和町一少年団として、危険個所に交通安全標識を立てる等交通安全運動に協力しています。

## 公園パトロール



### 公共施設を

### こわさないで

緑に囲まれた公園 施設は、私たちの生活に潤いと安らぎを

水飲み場の水道の蛇口はこわれている。修理すると、またすぐにこわされてしまう。(千歳公園)



公園の草取り作業に汗を流す昭和町一こども会(千歳公園で)

いただくため、毎年、こわれた箇所をなおすなどの維持補修を行ったり、公園パトロールを実施するなど管理につとめています。しかし、最近、公園等の施設が一部の方によつて、故意にこわされ、その対策に困つていま



厚いガラススタイルでできた便所の窓ガラスは、かたいものでたたかれたように、全部こわれている。(千歳公園内の便所)

## コモ市から物産展の案内状

本市は、イタリヤ国コモ市と産業、教育、文化、経済の交流をはかろうと、去る二月二十七日姉妹都市提携し、両市民の友好関係を深めています。このほど、春日市長のところへ、一通の手紙が届きました。この手紙は、ガエタノ・ゾツカ氏(コモ市輸出組合長)からのもので、十日町市民のみなさんから、日本で開催するコモ市物産展においていただきたいとの案内状でした。開催日程はつきのとおりですので、機会のある方は、是非ご覧いただきたいと思ひます。

このほど、公園のパトロールを行なった際も、つぎのような施設がこわされておりました。特に、公園内の便所の窓ガラス、水道の蛇口がこわされたり、樹木が折られているところがありました。

公園名	こわされた施設
四ツ宮公園	便器(男用)2つ粉失
住吉公園	樹木が折られている
春日公園	便所の窓ガラスのヒビわれ
寿北公園	水道の蛇口を砂でふさぐ
千歳公園	便所の窓ガラスがわれ、水道の蛇口がこわされている

佐藤実(昭和町一)さんは、「一部のもののために、みんなの施設をこわされたら大変。これ以上、こどもたちの心を傷つけないで」と訴えていました。私たち市民全部が、みんなの公共施設を大切に」という心がまえを持ちつづけたいものです。

コモ市物産展 (ネクタイ、スカート、既製服等) とき 九月二十九日〜十月一日 (大阪ロイヤルホテル) とぎ 十月二日〜十月四日 (東京帝国ホテル) いずれも午前九時から午後五時まで。

### 五か所で行政相談所を開設

#### ご利用ください

か、簡単なものは手紙または電話でも結構です。また、毎月第三木曜日(午前十時〜午後三時)は、定例相談として、市役所市民相談室で、行政管理庁委嘱委員による行政相談と県交通事故相談員による交通事故も合わせて開設しています。お気軽においでください。

十月十二日から十九日は、行政相談週間です。市では、つきのとおり相談所を開設しますのて、国や県、市などに対する苦情や意見要望などをお寄せください。なお、心配ごと相談や交通事故相談も合わせて行ないます。相談は無料、秘密を厳守しますのでお気軽にご相談ください。

#### 相談所開設日程

十月十三日 小泉公民館分館  
十月十四日 大井田公民館分館  
十月十五日 伊達公民館分館  
十月十六日 市役所相談室  
十月十七日 上新田公民館分館  
時間はいずれも午後一時から午後三時まで。

#### 市展においでください

第八回市展は十月十日から十二日まで、市民館で開かれます。是非ご覧ください。

#### 相談者 行政管理庁委嘱委員及び各地区担当の市行政委員



# 特集



国勢調査のシンボルマーク

# 国勢調査

## 10月1日実施

### 調査にご協力を お願いします。

### 国勢調査 ママ・ボクの名がならぶ、

滝沢 竜君(田中東、平八・利子長男)は、今日も元気にはしゃぎまわっている——。

昭和五十年十月一日第十二回目の国勢調査が実施されます。

市内に住んでいる赤ん坊から、お年寄りまで全員が調査票に記入されます。

#### 国勢調査

これは、日本にとってもっとも古く、しかも大規模な、大事を調査になっています。

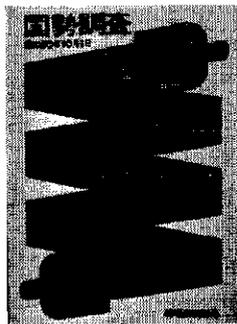
むかし、徳川時代(一七二一年)に人民の調査が行なわれま

した。それは、庄屋・名主が人別帳を作り、それを町年寄に渡し、町年寄は町奉行へ、そして武家公卿にと渡されたものです。

十日町市の一部において、元禄五年(一六九二年)に行なわれた「妻有組諸色改覚書」に戸数・人口が記載されています。

これによると、十日町村で戸数百九十・人口千二百四十九、水沢地区(馬場村・伊達村外五村の計)で戸数百九十二・人口千九百八十六とされるされています。

また、十日町市の一地区であった旧北新田村においても、戸籍調査のはじまりとされる「宗門人別書上帳」が天保五年(一八三四)に作られ、その資料



が保存されています。

この宗門帳は、戸籍法(明治四年)ができるまで続けられたものです。

そして明治五年(一八七二年)に戸口調査が行なわれ、その結果、全国で三千三百万人として

されています。その後、戸籍調査としてではなく、人口調査の必要性から、明治十二年杉亨二博士によって「甲斐国現在人別調」が実施されて以来、ようやく人口センサスとして、大正九年十月一日第一回国勢調査の運びとなり、以後ほぼ五年ごとに実施され、現在にいたっています。

今年で第十二回目の国勢調査となりました。

どうか皆様の、特段のご協力をお願いいたします。

昭和五十年国勢調査  
十日町市実施本部

#### ● 調査のねらい

最近、人口・過疎問題、人口高齢化や核家族化に伴う社会福祉対策などが論議されており、人口や世帯に関するきめ細かい統計の必要性が高まっています。

国勢調査は、全国・都道府県・市区町村の人口や世帯数、年齢などの人口構成、核家族やその他の世帯の構成を明らかにして、国はもちろん、都道府県や市区町村の地域社会に直結する行政に役立つ基本的資料を得るために行なわれるものです。

#### ● 調査のしくみ

九月二十四日から三十日までの間に、調査員が各世帯に「調査票」を配り、調査票の記入を依頼します。

十月一日から五日までの間に、もう一度、各世帯を訪問し、記入済みの調査票を集めます。

調査票は、市区町村・都道府県を通じて総理府統計局に集められ、直接「機械」にかけて、調査結果を集計します。

調査票は汚したり、折ったり、丸めたりしないように!!

### ●調査の時期と方法

全国で六十七万人の調査員、十日町市では、市内を二百七十の調査区に分け、約二百八十名の調査員を配置しています。

調査員は九月二十四日から、各世帯に、「調査票」と「国勢調査についてのお願い(調査票の記入例)」を配布しますので、各世帯は十月一日午前零時現在において、また就業状態等については、九月二十四日から三十日の間の状態を記入してください。

記入にあたっては、「国勢調査についてのお願い」をよく読んでから、調査票に記入されるようお願いいたします。

記入された「調査票」は、十月一日から調査員が集めに伺います。

### ●十六項目を調査

今回はつぎの十六項目を調査します。

〔世帯員について〕

- 1、氏名
- 2、男女の別
- 3、世帯主との続き柄
- 4、出生の年月
- 5、配偶者の有無
- 6、国籍
- 7、仕事をしたかどうかの別

- 8、従業地又は通学地
- 9、従業上の地位
- 10、勤め先・業主などの事業の種類
- 11、本人の仕事の種類
- 12、世帯の種類
- 13、世帯人員
- 14、住居の種類
- 15、居住室数
- 16、居住室の畳数

## 第1回国勢調査以来の市人口

地区別	大9正年	大14正年	昭和5年	昭和10年	昭和15年	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年
総数	33,886	35,372	37,716	43,121	43,431	48,917	49,370	50,755	49,854	49,576	49,619
男	16,699	17,580	18,942	21,816	21,571	—	24,124	24,358	23,850	23,631	23,701
女	17,187	17,792	18,774	21,305	21,860	—	25,246	26,397	26,004	25,945	25,918
世帯数	5,948	5,200	6,450	7,373	—	—	8,469	8,696	9,469	10,435	11,332
十日町地区	7,770	8,576	9,615	11,929	12,357	13,575	14,063	14,747	14,816	15,287	14,599
吉田地区	4,247	4,458	4,701	7,104	5,723	6,332	5,722	5,389	5,011	4,566	4,163
下条地区	4,530	4,402	4,634	4,475	4,664	5,462	5,516	5,225	4,856	4,645	4,399
中条地区	7,350	7,525	7,810	8,069	8,418	9,476	9,790	9,781	9,647	9,579	10,527
川治地区	3,473	3,510	3,724	4,155	4,525	5,162	5,363	6,118	6,422	7,159	8,146
六地地区	1,438	1,479	1,480	1,468	1,480	1,662	1,654	1,588	1,470	1,293	1,102
水沢地区	5,078	5,422	5,752	5,921	6,264	7,248	7,262	7,907	7,632	7,047	6,683
増減数(対前年)		1,486	3,344	5,405	310	5,486	453	1,385	△901	△278	43
増減率(対前年比)		4.2	6.2	12.5	0.7	11.2	0.9	2.8	△1.8	△0.6	0.1

“ひとりも漏れなく  
ありのまま”



## 昭和五十年国勢調査 新潟県予想人口懸賞募集

### 7、当選

- 一等賞 二万円 1人
- 前後賞 五千元 2人
- 残念賞 記念品 若干人

### 8、当選方法

- (1)新潟県の人口数は、昭和五十年国勢調査結果概数とし、昭和五十年十二月に県が公表する人口数とします。
- (2)的中者がいない場合は、人口数に近い者から順次一等賞、前後賞、残念賞とします。
- なお、(2)の場合、残念賞が一定数に満たない場合、人口数に近い者から順次残念賞とします。

### 3、応募内容

昭和五十年国勢調査による新潟県の常住人口数を当てる。

### 4、応募方法

- (1)新潟県内に居住する人に限ります。
- (2)用紙は官製ハガキを用い、一枚一答とします。
- (3)人口数は算用数字を使います。
- (4)応募枚数に制限はありません。
- (5)応募「はがき」には、住所・氏名・性別・年齢・職業(児童・生徒・学生は所属学校と学年)を明記してください。

### 5、締切日

昭和五十年九月二十日(火)  
(当日の消印のあるものは有効)

### 6、送り先

新潟市学校町通一番町六〇二(郵便番号九五二)  
新潟県企画調整部統計課内  
昭和五十年国勢調査新潟県実施本部

### 7、当選

昭和五十年九月二十日(火)  
(当日の消印のあるものは有効)

### 8、当選方法

新潟県の人口数は、昭和五十年国勢調査結果概数とし、昭和五十年十二月に県が公表する人口数とします。

### 9、当選発表

昭和五十年十二月中旬に、市町村を通じて本人又は所属学校長に通知します。

### 10、その他の参考

新潟県人口のあゆみ  
昭和四十年十月一日  
国勢調査人口  
昭和四十五年十月一日  
昭和四十九年十月一日  
新潟県推計人口  
二、三六〇、九八二人  
二、三七〇、三二八人

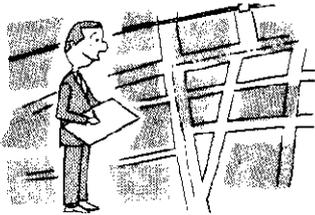


# 国勢調査調査員氏名

## 〔内〕は担当地区名

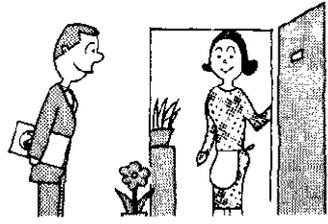
### ●十日町地区

(八幡田町) 広田茂雄、水落達夫(西本町) 関谷金松(根茂家) 柳良度(本町六丁目) 星野忠男、佐藤正彦(本町六丁目) 根津哲夫(本町六丁目) 大島栄作(上川町) 樋口新一(田川町二丁目) 片桐久作(田川町二丁目) 若井新助、佐藤信久(田川町三丁目) 池田辰米、若井正伸(川原町) 庭野光夫(田中町本通り) 小海義輝、中林勇雄(本町五丁目) 関口美彰(稻荷町一丁目) 上原貞蔵(稻荷町二丁目) 中林順治(稻荷町三丁目) 北) 高橋安治(稻荷町西) 広田勲(稻荷町三丁目) 日本通(阿部正敏(稻荷町三丁目) 草間金次郎(稻荷町三丁目) 日東・旭町) 小川修平(稻荷町四丁目) 酒井三郎、八島勉(昭和町四丁目) 佐野久治(西浦町西) 大島茂一郎(西浦町東) 丹羽茂(本町四丁目) 内山仙吉(田中町西) 霜垣信一(田中町東) 西方勝太郎(若宮町) 阿部国治(水野町) 大島伊一(学校町一丁目) 庭野新七(学校町二丁目) 矢口辰幸(宮下町東) 牧野健(宮下町西) 宮入正一(諏訪町) 佐伯忠男(本町三丁目) 燕



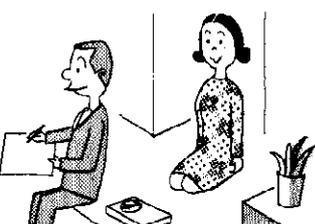
木孫右(神明町) 徳永泰三(箕口樋口町) 田村孝次郎(加賀系屋町) 根津佐太郎(駅通り) 田口勝、大島新二(昭和町三丁目) 石坂正隆(泉町) 樋口政春(丸山町) 阿部栄治(千代田町) 式場三郎(島) 庭野貞作、春日勝(高田町三丁目) 小宮山正巳(関芳寮) 渡辺一(高田町三丁目) 田川正三、樋口虎治(十日町病院) 根津均(十日町病院寮) 尾身直子(高田町三丁目) 東) 村山福吉(高田町二丁目) 徳永啓吉(昭和町二丁目) 小杉邦子(西寺町) 高橋治作(七軒町) 高橋米蔵(高田町一丁目) 田村寅治(袋町西) 五十嵐保(袋町中) 山田真佐栄(袋町東) 本日隆治(本町二丁目) 山内士郎(本町東一丁目) 田村猛(本町二丁目) 野泰法(本町一丁目) 滝沢文吉(滝文寮) 石沢資郎(本町西一丁目) 宮内喜平(昭和町一丁目) 中島孝作(栄町) 岩田正孝(江道・猿倉) 庭野弘(津池) 小林好一(赤倉) 庭野栄一郎(菅沼・大池) 庭野

●川治地区  
(高田町五丁目) 池田定治(高田町四丁目) 高橋ヒサ(寿町四丁目) 長津進(桜木町) 星名健三(美雪町三丁目) 古沢昭三(美雪町一・二丁目) 高橋好雄(錦町一・二丁目) 阿部重吉(春日町一丁目) 児玉栄重(春日町二丁目) 柳辰春(春日町三丁目) 高橋萬平、山本繁敏(高山第二) 阿部信久(高山第三) 高橋茂(高山第四) 村山実(エドヤ寮) 水野三郎(寿町一・二・三丁目) 西野繁(千歳町・河内町) 阿部民男(山本町一丁目) 樋口彰(山本町二丁目) 桑原映吉(山本町三丁目) 芥木英計(山本町四・五丁目) 小林朝乃(川治下町第二) 斎藤紀元(川治下町第二) 佐藤一男(妻有町西一丁目) 大津牧平(北新田第一) 柳健一(北新田第二) 岡村建治(北新田第三) 樋口キミ(城之古第一) 高橋秀雄(城之古第二) 高橋正和(城之古第三) 東町・明石町) 田村文吉(谷内丑第二) 高橋英男(谷内丑第二) 板橋市太郎(川治内後) 松沢四郎(川治下町第三) 須藤彦四郎(川治中町) 中沢林平(川治上町) 遠田彰平(関根第一) 第二、浅之平(南雲幸一) (笹之沢)



●六箇地区  
(中村) 小杉茂(山谷・麻畑) 柳秀夫(田麦) 福崎正幸(塩之又) 桑原清正(二ツ屋) 俵山正文(船坂) 徳永三義  
●吉田地区  
(稲葉) 児玉新一(山谷) 渡辺敏一、酒井一郎(小泉) 長野利雄、小沢才吉(樽沢) 春日一夫(北鑑坂第一) 吉沢米一(北鑑坂第二) 古沢英雄(北鑑坂第三) 栗林鎌一(南鑑坂) 保坂久一(保坂教治) (高島第一) 佐野繁喜(高島第二) 浦井重二(鉢) 尾身正作、尾身保(中手) 水内茂(名ヶ山) 桑原一郎(中平) 尾身幸雄  
●中条地区  
(尾崎) 小川辰治(五軒新田) 高橋貞夫(四日町第一) 池田栄小川源次(四日町第二) 西川勝雄、小海正徳(四日町第三) 内藤喜一郎、二瓶清一(四日町第四) 谷井俊行(四日町新田第一) 太田道夫(四日町新田第二) 山田幸文(四日町新田第三) 山田泰次郎、樋口悟郎(四日町第四) 南新田町) 丸山富士郎(三和町) 目崎正吉(本町七丁目) 村山眞、小泉節子(本町七丁目) 高橋茂、田口勝利(新座第一) 鈴木義長、根津貞夫(新座第二) 鈴木義長、根津貞夫(新座第二) 楠熊茂夫、遠藤昭一(新座第三) 越井武男、庭野喜一(睦寮) 村山栄(新座第四) 越村奇、高橋三五郎(北原) 池田一雄(中条病院) 小野塚謙治(梅沢) 上田喜一郎(中条新田) 岩田国吉(峠) 岩田悦次(中条島) 小泉丑松、金沢清(下町) 樋熊久雄(中町) 樋口東司(背戸) 中林栄三郎(上町) 樋口健一、和田良之助(中条旭町) 樋口栄三郎、和田潔(太子堂) 小宮山慶(上原) 大熊正三(塚田・八幡) 高橋勝(市之沢) 小宮山未治(入山・池谷) 山本徳政(焼野・嘉勝) 池田伊勢松(轟木) 藤木公栄(魚之田川) 波形重二郎(新水) 岩田熊二(蔵平・上田原) 西山熊男(宇田ヶ沢・菅沼) 水落實(山新田) 小貫(庭野友治(東) 西枯木又) 山田房吉(三ツ山・高場) 大津卯三

●下条地区  
(新光寺) 藤巻亮(下山) 山田一男(水口) 山田興夫(新保) 藤田秀雄(貝ノ川) 小林鉄雄(下条本町) 中町由男(為永・山根) 村山清治(岩野) 星野清(下条中央通り) 渡辺吉一(桑原・野田・蟹沢) 開発一郎(下条栄町) 廿日城) 生越伊三郎(原) 大島良作



(山際) 水落武(上新田第二) 生越康作(上新田第二) 関由昇(上新田第三) 生越賢二(塩野) 樋口兼衛(願人) 水落儀一(仙之山・平) 中町正憲(漣野) 水落伊佐生(二子) 水落信可(慶地) 小宮山昭策  
●水沢地区  
(天池・細尾) 宮沢富松(池之尻・漆島) 佐藤修一(池沢) 樋口正徳(野中) 樋口政信(鞆柄) 桑原正男(当間) 佐藤貞夫(俣口) 熊木隆(南雲) 桑原久雄(中在家) 樋口昇、飯塚重芳(珠川) 金沢進(小黒沢) 宮沢忠男(大黒沢第一) 板場寅夫(大黒沢第二) 志賀秀一(大黒沢東) 岡田義明(伊達第一) 宮沢壮一(伊達第二) 遠田栄松(伊達第三) 村山賢一(伊達第四) 上村久雄(新宮第一) 幸町) 村山昌司(新宮第二) 金沢貢(老人ホーム) 富井泰一郎(姿第一) 保坂巖(姿第二) 金沢直好(太田島第二) 金沢誠一(太田島第三) 上村哲男(太田島第三) 高橋實(土市第一) 富井良通(土市第二) 池田勝敏、山崎正勝(土市第三) 樋口千基(土市第四) 上村巖(安養寺) 古沢賢一(馬場第一) 富井一男(馬場第二) 富井久一(馬場第三) 富井武正(馬場第四) 樋口克二(水沢第一) 金井啓三郎(水沢第二) 大口軍市(水沢第三) 福島正幸

# 台風シーズン



① S. 34. 7号台風  
② S. 24. キテイ台風

## 心の準備を

台風は、毎年日本列島を標榜のように進み、ことしの台風五・六号は日本各地に大きな被害をもたらしました。過去において、新潟県下に風水害を起こした台風は、九月中旬が最も多く被害の規模も最大とされています。本格的な台風シーズンを迎え、つぎのことに注意し、台風に対する備えに万全を

## 風速と被害状況

風速 m/s	風圧 kg/m <sup>2</sup>	被害内容
10	5.0	雨傘がこわれる。
15	12.0	取付けの悪い看板やトタンが飛び、上体を30度位傾けないと風に向って歩けない。
20	20.0	瓦が飛んだり、煙突が倒れる。
25	31.0	戸がはずれ、しっくがはがれ、汽車(客車)が倒れる。小石が飛び、ぶつて歩けない。
30	45.0	汽車(客車)が倒れる。小石が飛び、ぶつて歩けない。
40	80.0	汽車(客車)が倒れる。小石が飛び、ぶつて歩けない。
50	125.0	汽車(客車)が倒れる。小石が飛び、ぶつて歩けない。

## アメシロを退治しよう

防除機をお貸しします



アメシロの二回目の発生期です。家のまわりの木の葉をよく観察し、スカシ状の葉があったら、それがアメシロの巣です。防除方法は枝切と果焼きが、効果的です。幼虫が四齢以上になると一匹づつ行動します。この時期には、薬剤による防除方法しかありません。市役所では、枝切りバサミと防除機を配置しています。ご希望の方は、町内あるいは事業所単位でお申し込みください。

灯、トランジスタラジオ、非常食、応急医薬品等を用意する。

貯える。◎バケツや水筒に水やお茶を

## 預託金を増額しました

### 市の融資制度

商業の発展は、市産業の発展につながります。市では、これら中小企業への融資の道を開くため、商工中金をはじめ、各金融機関に資金を預託して、大ぜいの業者のみなさんの利用をお待ちしています。

#### ▽市中小企業振興資金

市内に工場または事業所及び店舗を有する中小企業で設備運転に要する資金を融資。設備資金は期間五年以内、貸付限度額は、設備所要資金の八十%以内の額で三百万円以下。運転資金は、期間二カ年以内で限度額二百万円以内。

いずれも引続き一カ年以上の営業経歴のあるもの。このほか、都市計画事業等、公共事業のため、店舗等の移改築をする場合等の商店街等近代化資金も取り扱っています。

#### ▽市地方産業育成資金

市内の中小企業が、店舗改善資金や運転資金とするもので、貸付限度額は百五十万円以内。貸付期間は一カ年以内。貸付利率は年七・五%です。これらの制度融資の申し込みと相談は、毎月末日までに市役所商工課または商工会議所、水沢商工会でお受けします。

このほか、資本金五千万円以下、従業員三百人以下の中小企業者を対象に、工場または事業所等の公害除去や防止のために必要な機械器具装置、工作物を設置改善する場合、市公害防止施設貸付資金制度があります。また、自動車十台以上収容できる駐車場を設置する場合、つぎのとおり、市駐車場設置資金貸付制度があります。

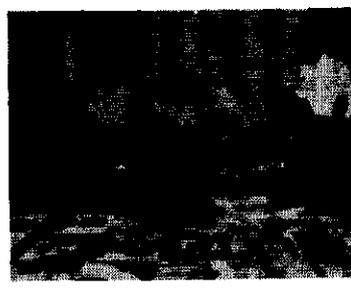
貸付限度額 共同施設二千万円。駐車場を業とする場合千万円。前各号以外五百万円。お申し込みは市役所環境課へ。

## 勤労青少年ホームの休館日が変わりました

勤労青少年ホームでは、最近の社会情勢の変化、ホームの利用状況、県内の他ホームとの関係等を考え、九月一日より休館

## フォト雲たるま

写真がメシの次に大好きな者の集まり。サラリーマンあり、自営業者ありの混成グループ。会長は樋口喜一(谷内丑)直前会長は庭野泰明(広報協力員)会員数は十名、ただいま同好の士を募集中。老若男女を問わず、希望者は谷内丑の樋口喜一へ。毎年八月のお祭りに展示会を開いているが、今年のテーマは「市民の顔」。市民との連



携も深まり大好評。誰でもたのしめて、しかも深味のある写真を撮りつづけた、というのが会員の望みである。

## 心障者雇用促進展を開催

十日町公共職業安定所は、九月を「心身障害者雇用運動月間」と定め、心身障害者の雇用促進対策を重点的にすすめています。そのおもな行事のうち「心身障害者雇用促進展」をつぎのとおり開催しますので、多数ご来場ください。と き 九月十三日～十四日 ところ 市農協福祉会館

## 被没者の遺族に特別弔慰金が支給されます

特別弔慰金支給法の一部改正により、つぎの条件に該当する遺族は、特別弔慰金として新たに二十万円(十年償還無利子国債)が支給されます。昭和五十年三月三十一日までに公務扶助料、遺族年金などを支給していた人が死亡などにより失権し、ほかに扶助料、年金などを支給することのできる人がいないこと。昭和十六年十二月八日以後の戦没者の遺族で弔慰金(五万円又は三万円)を受給した人がおり、特別弔慰金(三万円)を請求しなかった遺族。昭和十二年七月七日から昭和十六年十二月七日までの間の戦没者の遺族。請求手続き等詳しいことは市社会福祉事務所へ。

# 河川の愛護に

## 信濃川愛護組合等連合会が発足

中糸地区信濃川愛護組合等信濃川沿線の各地区愛護組合（九組合）は、水害予防及び河川愛護に相互協力しようと去る八月二十二日、十日町市信濃川愛護組合等連合会（会長近藤雄四郎）を結成しました。

今後は、災害時の情報の収集伝達、河川改修の早期実現等に関係機関に働きかけることとなります。なお、市内の各河川について、河川愛護を目的として



## 九月は固定資産税第三

かしい消費者  
食品添加物  
食品衛生法  
動物検疫所  
動物検疫所  
動物検疫所



## 収獲期の火災予防を

例年、秋の取り入れ時期にな

9月の休日救急医
15日(月) 富田 医院(新明町) 2の3269番
21日(日) 庭野 医院(林町) 2の2711番
24日(水) 大島 医院(川原町) 2の2957番
28日(日) 至誠堂 医院(西浦東) 2の3276番

とえば、奥さんがパートで七十六万円を超える収入があれば税金がかかります。それ以下は税金がかかりません（収入が七十万円以下であれば、所得税の配偶者控除が受けられます）

乾燥機の使用にあたっては、火災の未然防止に十分ご注意ください。

## 労働委員会創設三十周年記念論文募集

労働委員会創設三十周年を記念し、労働委員会制度又は労働関係に関する論文をつぎのとおり募集します。

○応募資格 労使関係者及び労働関係の業務に携わっている人

○テーマ 労働委員会制度又は労使関係に関するもの

○論文の内容 四百字詰め原稿用紙五十枚以内。外に、論文の要旨、執筆に当たった問題意識等を箇条書きにし、四百

## 警察官を募集

警察官を募集  
警察官を募集  
警察官を募集



## 食生活改善推進委員会「やまな会」は料理実習に猛勉強

市保健課は、このほど健康づくりの6つの食品の摂取状態を調査した結果、特に緑黄色野菜は必要量の76%（冬期は47%）と不足していることがわかりました。成人病予防のため、緑黄色野菜にもっと目を向けようと、食生活改善推進委員会「やまな会」は、緑黄色の濃い野菜をとり入れた料理実習に猛勉強。各地域の主婦を対象にその普及につとめています。

## 寄付ありがとう

阿部米吉……十万円▽山田武夫(香典返し)……三万円▽春日市長……一万円▽匿名……四千五百円▽ボーイスカウト十日町第一団(代表 矢口和弘)……四万二千七百四十四円▽関口文二郎(憩いの家へ)……大型電気マッサージ器▽小嶋屋そば店(四ツ宮公園へ)……回転くず入れ

## 母子栄養食品(ミルク)を支給

市保健課は、前年分の所得税

## 停電のおしらせ

九月二十五日……北新田の一部▽城之古東町の一部、午前九時～正午まで▽九月二十六日……高田町五の一部▽高山第三……高山第四の一部、午前九時～午後一時まで▽九月三十日……高田町一の一部▽高田町二～七軒町▽昭利町二▽昭利町三の一部▽昭利町一の一部▽泉町▽栄町▽丸山町の一部▽高田町三南東▽高田町三西の一部、午前八時～午後二時まで